

気仙沼・小泉小 県の絶滅危惧種調査



ヒメシロチョウの卵などを調べる児童

気仙沼市小泉小（児童46人の3、4年生19人が17日、県や専門家と協力し、「ヒメシロチョウ」の調査東日本大震災の復旧工事を行った。葉に産み付け

津谷川流域で卵確認 復興工事現場

られた卵などを確認した。調査は同市本吉町小泉地区の津谷川河川敷であった。チョウの生態に詳しい宮城教育大の溝田浩一准教授や県気仙沼土木事務所の職員が同行した。子どもたちは、ヒメシロチョウが食べる「ツルフジバカマ」の葉を調査。チョウが食べた跡や表面に付いた卵を探していた。3年の及川武流君（8）は「白い小さな卵を見つけた。チョウがたくさん育って、小学校まで飛んできてほしい」と話した。溝田准教授によると、ヒメシロチョウはツルフジバカマが生える場所に生息。県内では気仙沼市内でしか確認されていない。県は震災の復旧工事で、津谷川河口の約2キロで河川堤防を整備している。溝田准教授は「子どもたちにとつて、地域の宝をどう守るかを考えるいい機会になった」と話した。

ヒメシロチョウを守るん

問題

① ヒメシロチョウの調査を行ったのは、どこの学校の何年生ですか？

小学校 年生

② ヒメシロチョウはなんという植物が生える場所で育ちますか？

③ みなさんの身近な植物の周りには生き物の卵や姿は見られますか？

（小学校3、4年生／朝の会）

8月11日こども新聞7面ワークシート解答

① ヒメシロチョウの調査を行ったのはどこの学校の何年生ですか？

気仙沼市立小泉小学校 3、4年生

② メシロチョウはなんという植物が生える場所で育ちますか？

ツルフジバカマ

③ みなさんの身近な植物の周りには生き物の卵や姿は見られますか？

模範解答なし